

2017年12月度ハイキング(しょうゆの街 野田の街並み散策)および忘年会の報告

2017年12月1日(金)、江戸時代初期から醤油の街として発展した野田の歴史を辿りながら、街並みを散策しました。今回は21名の参加者での開催となりました。今回は年末ということもあり、ハイキング終了後、籠原にて忘年会を18名の参加を得て開催しました。

＜今回の散策ルート＞ ●●●●● ガイドさんなし ●●●●● ボランティアガイドさん同行

主な行程

- 9:30 野田市駅南口集合
 - 9:40-10:30 野田市郷土博物館
 - 10:40 茂木本家邸
 - 10:50-13:00 キッコーマン
もの知りしょうゆ館
見学・昼食
 - 13:25-14:00 上花輪歴史館
 - 14:20 興風会館
 - 14:25 キッコーマン野田本社
 - 14:35 千秋社
 - 14:45 野田醤油発祥の地の碑
 - 14:50 キノエネ醤油
 - 14:55-15:15 愛宕神社
 - 15:20 愛宕駅
 - 15:26 東武野田線
 - 16:09 大宮
 - 16:21 高崎線
 - 17:04 籠原
 - 17:10 忘年会場(とんふみ)
- 歩行距離 約7.5km



9:30
東武野田線(東武アーバンパークライン)
野田市駅に集合





9:35 野田市駅から郷土博物館へ向かう



9:40 野田の醤油醸造家、茂木佐平治邸を、市民会館として活用している。
敷地内に千葉県で初めての登録博物館として醤油関係資料や野田の歴史や文化資料が保存・展示されている。



江戸時代の醤油造りの様子を示すジオラマも展示

博物館から茂木本家邸などの前、街並みを通り、もの知りしょうゆ館へ



キッコーマン むらさきの里
もの知りしょうゆ館
MONOSHIRI SHOYUKAN

10:50 キッコーマンもの知りしょうゆ館
に到着

11時より「もの知りしょうゆ館」見学、約15分の案内VTRの後、醸造工程を説明を聞きながら順次見学。
原料処理工程(大豆、麦、塩、こうじ)⇒製麴(せいぎく)行程(麴を作る)⇒発酵・熟成⇒
压榨行程(もろみを布に包んで絞る)⇒火入れ・ビン詰め 約1時間の見学でした。
醤油にもビールと同様に、もろみを自重で自然に絞り出した”一番搾り”と加圧して絞った”二番搾り”以降
のものがあるようです。



もの知りしょうゆ館内の庭



宮内庁に納入する醤油の専用醸造所。「御用蔵」



もの知りしょうゆ館の講堂にて、昼食



皆さん もろみ弁当(¥840)を予約しておき食べました。
お値段の割には……



13:00 「むらさきの里 野田ガイドの会」中島さん(緑の半纏の方)の説明による、街歩きの開始



キッコーマン工場前の通り(有吉町通り)を歩く
この通りの街灯には蒸気機関車の飾りがありました。

13:20 上花輪歴史館見学(江戸時代上花輪村の名主で醸造家の高梨兵左衛門の居宅・庭園で
国指定の名勝となっている)



入口の冠木門でガイドの中島さんから説明を聞く一行。



門長屋



表玄関



庭園

上花輪歴史館ではすべて回る時間が取れず、主に赤線部分を見学した。(約30分)



14:20 興風会館(社会教育事業の推進を目的に昭和4年(1929年)建設)
 当時、千葉県庁に次ぐ大建築と言われた。
 建築様式はロマネスクを 加味した近世復興式。

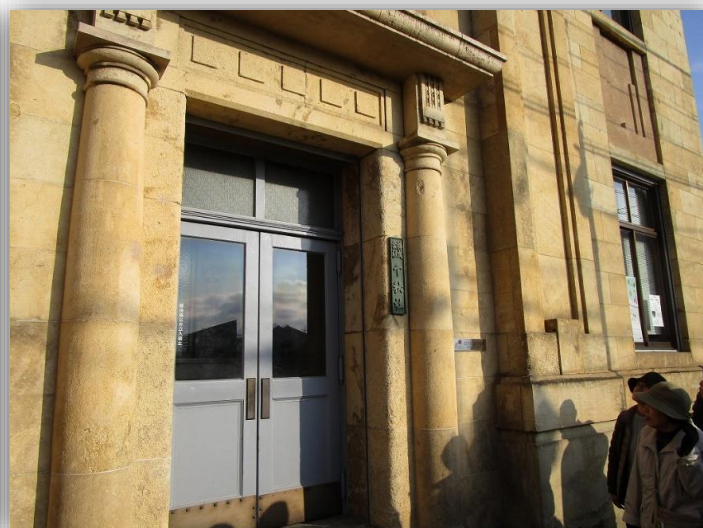


14:25 キッコーマン本社外観



創立80周年記念事業として平成11年建設

14:30 千秋社



高梨・茂木一族の8家が合同で野田醤油(株)を設立時、その支援団体として「千秋社」を組織した。



14:50 野田の醤油発祥の地の碑



15:00 愛宕神社



野田の街にはこんな「まめバス」が走っていました。

12月1日、当日は縁日で、神楽殿での舞や縁起物の熊手の露天商が境内に出ており、年末を感じました。



愛宕神社

祭神 迦具土命 (火伏の神)
 創建 延長元年 (西暦九三三年)
 社殿様式 権現造り 本造銅板葺
 本殿拜殿 文政七年十月二十四日再建

野田開墾の後、火の災難を防禦せんが為、山城國愛宕郡愛宕(現在の京都市右京区)の里からこの地に、迦具土命の御分霊を遷奉りて氏神とした。時に延長元年(西暦九三三年)であります。迦具土命は雷神を祀り、防火を司る神様であります。依つて野田開墾後、郷内に勢力を伸ばしはじめた土豪(農民)等の間に争いなどがあがり、山火事ははかりでなく兵火の心配も多く故に火伏の神を祀つたと伝えられています。迦具土の「カグ」とは、火の輝くこと、「ツチ」とはその霊力のことであり、この神名は火の輝くお力について言つたものであります。また火靈神とも言われ、火が万物を生み育てる力の根源である霊力を称えた名であります。古代の農耕守護、五穀豊穡の神様であります。他に、愛児(あたこ)様と申しまして安産、子供の成長、成育の神様でもあらわれます。



延長元年(923)創建、本殿には見事な彫刻がありました。子供が書の練習や囲碁で遊んでいる様子があり、妻沼聖天様の彫刻と同じようなものでした。



愛宕神社本殿前にて
集合写真

15:20 愛宕駅にて解散



予定より少し早い、愛宕駅発15:26の電車に乗り、次の忘年会へ向かいました。

17:30 籠原駅前の「とんふみ」にて、2017年度ハイキング同好会の忘年会を開催しました。
ハイキング参加の中から、3名が都合で不参加となり参加者は18名でした。





前日の気象予報では曇りとありましたが、幸いに風もなく、時折陽も差して暖かい一日でした。

野田市駅に降り立つと、しょうゆの匂いが漂い、まさに「しょうゆの街」でした。

野田市郷土博物館ではしょうゆ造りの歴史を知り、もの知りしょうゆ館では現在の製造工程を見学し、しょうゆにも”一番搾り”があることも学びました。午後からの野田の街歩きでは、ボランティアガイドの中島さんの説明を聞きながらの散策でした。ただ道幅が狭く、縦一列移動のため、後ろの方は説明が聞こえなかったのは残念でした。

上花輪歴史館は広い敷地に、屋敷、庭園が広がり、古くからの創業家の繁栄が見られ、各所に点在する茂木家一族、高梨家の屋敷が古い街並みを形づくっているのが分かりました。

今回の街歩きは、移動時間が少し忙しく歩行が早めでしたので、大変だった方もおられ、申し訳ありませんでした。

また忘年会は約2時間半にわたって、料理にお酒に仲間同志の話が弾み、楽しい時間が過ごせたかと思います。

ハイキング参加の皆さま、忘年会参加の皆さま、お疲れさまでした。

次回、1月12日は「浅草七福神めぐり」が美工担当で行われますので、皆さまの参加をお待ちしております。

記： 加藤(ふる伝)